

令和2年度 獨協医科大学教育セミナー ～コロナ禍における業務改善の取り組み～

コロナ禍における安全な研修会の開催 - 各研修の目的や内容に応じて -

円谷亮二 廣瀬紗彩 豊田訓子 梅田奈津美 江口啓子 飯村礼華
斎藤裕 永井睦子 早田美穂 井上宗典 仁戸部富恵 種市洋

獨協医科大学SDセンター



SDセンターの紹介

SDセンター理念

mission

「社会のために」教育・健康・研究に関する課題に対して、主体的に分析し改善を図ることができる人材を育成します。

Vision

1. 医療・教育に関する役割遂行能力を向上させる
2. 自ら資質向上を図り行動できる人材を育成する
3. 相互成長（共育）を目指す教職員の人材育成を図る

令和元年度 研修会開催の実績

- ◆ 年間35コース開催
- ◆ 受講者延べ人数 4,219人



令和2年度 上半期計画の修正

【実施】
看護師特定行為研修
RQI
看護補助者活用

実施予定の14コース中、
3コースの実施を決定

【中止・延期】
認定看護師教育課程
JMECC/ICLS①（壬生）
医療安全管理者養成講習会
LGBTQ講習会
BLSコース
ELNEC-J（壬生）
入退院支援講習会（壬生）
認知症患者の理解と看護実践
CVC
J-MELS①
JMECC①（埼玉）

実施する3コースの
安全性・実行性を確保

研修会の開催以外で
実施すべき事業を検討



令和2年度 上半期の目標

安全第一

【主な事業】

- 看護師特定行為研修
- RQI
- 教育訓練給付
- iMedy

緊急性・必要性
が高い研修会の
開催方法を検討

感染リスクが
低い新規事業に
リソースを割く



看護師特定行為研修＜概要＞

目的：特定行為（医行為）が実施可能な看護師を養成する。
特に、令和1年度10月期に入構した1期生の修了が急務。

内容：講義（e-learning）、演習（事例検討）、OSCE、
自施設での臨地実習（特定行為毎に5症例実施）。

対応：研修生や指導者の**移動・集合を最小限に抑えつつ**、
研修の安全性・実行性を担保して実施。
（例：厚生労働省に承認されたOSCE実施方法を以下に一部抜粋）

- ①研修生・指導者は自施設の実習室、外部評価者は自施設で実施する。
 - ②研修生・指導者・外部評価者が事前にe-learningで事例を視聴する。
 - ③指導者が研修生の実技試験を撮影して外部評価者にビデオ配信（※）する。
 - ④外部評価者は観察評価表に基づき評価を行い、適宜撮影者等に指示ができる。
 - ⑤最後に生中継のビデオ配信（※）を用いて外部評価者が評価を伝える。
- ※）Microsoft社が提供するサービス「Teams（有償版）」を使用する。
指導者側はタブレットを用いて撮影・配信ができる。
チャットやビデオ配信は、参加者全員が事前に通信テストを実施する
本学の研修において、研修生・指導者が日常的に用いている実績がある。



看護師特定行為研修＜OSCE＞

特定行為：気管カニューレの交換



RQI（蘇生の『質』改善プログラム）＜概要＞

目的：3か月毎にBLS（一次救命処置）トレーニングを継続的に実施し、BLSのスキル・ライセンスを維持する。

内容：各回30分程度、セミセルフ式のe-learning／実技。

対応：RQI（2機）の実施場所を**1部屋から2部屋に分散し**、
担当者9名を下表のとおり配置。

	9:00～11:00	13:00～15:00	17:00～19:00	～各担当者の勤務時間～
月曜日	A (D)	F (D)	F (G)	9:00～17:00 A～E 10:50～19:00 G～I (※) 11:00～19:00 F
火曜日	B (E)	F (E)	F (H)	
水曜日	C (A)	F (A)	F (G)	
木曜日	D (B)	F (B)	F (H)	
金曜日	E (C)	F (C)	F (I)	

※）従来は8:50～17:00の勤務時間であったため、時差出勤とした。



RQI（蘇生の『質』改善プログラム）＜部屋＞



＜実技風景＞

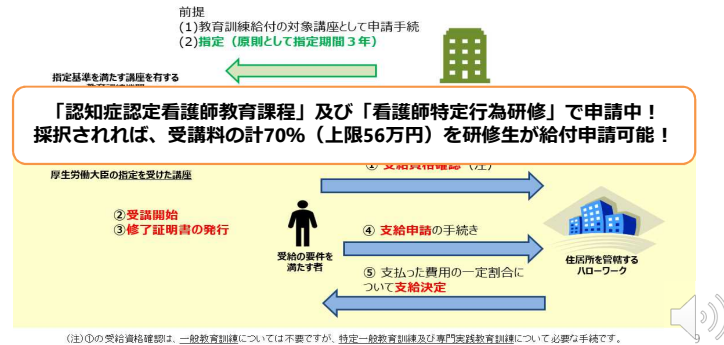


＜予約管理＞



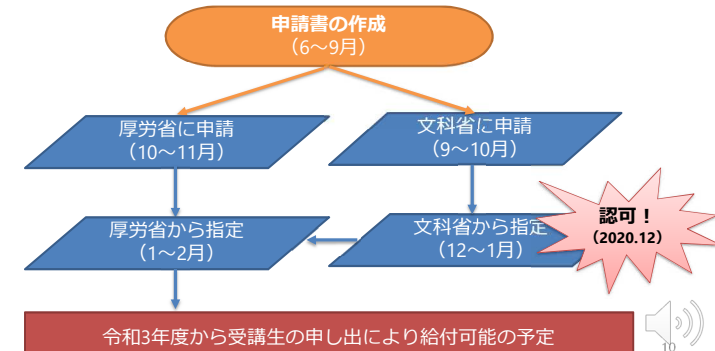
教育訓練給付（専門実践教育訓練給付）＜概要＞

働く方の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とし、教育訓練の**研修に支払った費用の一部が支給**される。



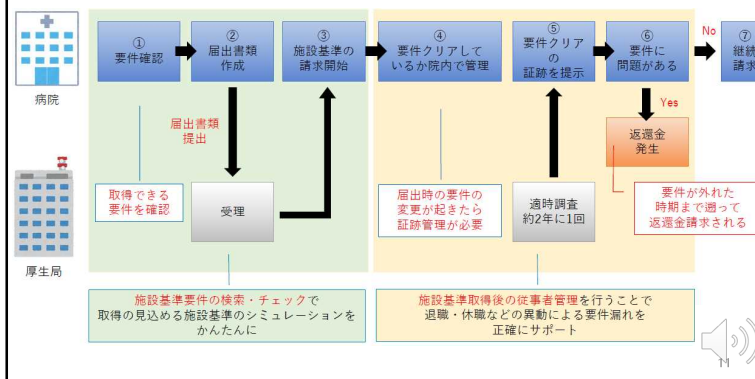
教育訓練給付（専門実践教育訓練給付）＜申請＞

- ◆教育訓練給付（専門実践教育訓練給付）の対象となるには、厚生労働大臣及び文部科学大臣による講座指定が必要。
- ◆講座指定は年2回（春・秋）行われ、講座指定後の有効期間は3年間。



iMedy（施設基準管理システム）＜概要＞

施設基準の取得を検討する場面から、取得後申請内容の管理まで、院内における**施設基準の情報を検討・管理・共有**できるシステム。



iMedy（施設基準管理システム）＜機能＞

- ◆資格管理の観点から、スムーズな施設基準管理をサポート。



- ・ **感染予防対策**は可能な限り実施する。
- ・ 参加者の**健康状態**や**行動歴**を管理する。
- ・ 参加者の**移動**や**集合**を最小限に抑える。
- ・ **人員**や**空間**や**期間**を十分に確保する。
- ・ **ICT**や**ガイドライン**を有効に活用する。
- ・ **国／自治体／本学**などの**動向**を注視する。
- ・ 中止の**判断／対応**を**明確／迅速**にする。



令和2年度 下半期の目標

安全第一

研修の実行性に
鑑みて積極的に
開催を検討する

ICTツールや
ガイドラインを
更に活用する

【主な事業】

- JMECC
- BLS
- 実習指導者講習会
- 教育セミナー



JMECC (日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会) <概要>

目的：内科専門医制度の研修カリキュラムにおける、救急領域での到達目標（必須要件）を修了する。

内容：講義・インストラクションを用いた実技／診断／試験。

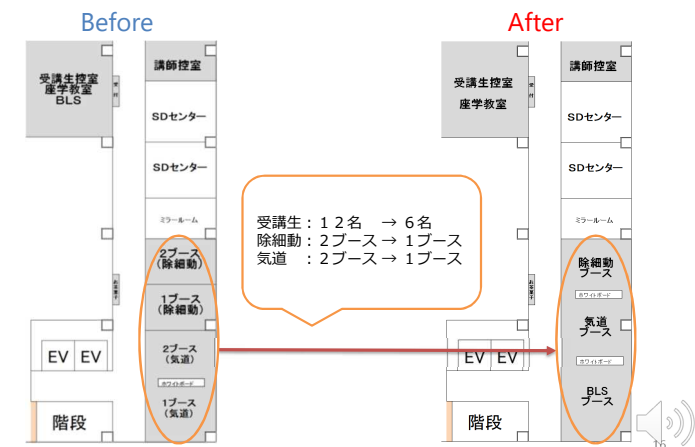
対応：ブース数を減らし、ホワイトボードで仕切ることにより各ブースの広さを柔軟に可変できるようにした。



グラデーションブルーの文字は正しい知識と冷静な判断を、
オレンジ色は素早く的確な行動をそれぞれ表現しております。
鉤型にレイアウトした『JMECC』はチェックマークのイメージで、
この講習会が医師にとって外せない、チェックすべき講習会である
ことを表現しております。



JMECC (日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会) <配置>



BLS（一次救命処置）＜概要＞

目的：BLS（一次救命処置）のスキル・ライセンスを獲得。
特に、新人看護師（約120名）の初期研修として実施。

内容：インストラクション・ビデオ学習を用いた実技／試験。

対応：従来の**各回36名×4日**を新たに**各回12名×12日**に分散し、
各回のソーシャルディスタンスを確保する。



BLS（一次救命処置）＜風景＞

Before



【受講生：指導者：資機材の比率】

受講生：6名（最大36名）
指導者：1名（最大6名）
資機材：2組（最大12組）

After



【受講生：指導者：資機材の比率】

受講生：2名（最大12名）
指導者：1名（最大6名）
資機材：2組（最大12組）

実習指導者講習会＜概要＞

目的：看護教育における実習の意義並びに実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるようになる

内容：講義（公開講座含む）／演習／臨地実習

対応：本学3病院の看護師のみを対象とする。
一部を公開講座とする。



実習指導者講習会＜学び＞

◆学内外の講師の指導、またグループワークを通して、
教育・看護・実習指導について学ぶことができた。

